まとめテスト②

中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

・全部で50点、制限時間は25分。配点は大問の見出しに書いてある。
・計算は別の紙に。答えは数だけ書く（単位・%は書かない）。小数は 0.7 のように書き、分数は使わない。
・階級は 10〜15 なら 10以上15未満 と読む。大問5は文で書く。問題文の 考えが 正しくない 理由を 書く。

大問1　求める・読む

各2点（10点）

(1) **点数 40、50、57、60、60、63、70**
60以上70未満は 何人？

(2) **25人の クラスで ある 階級の 度数は 5人。**
この 階級の 相対度数は？

(3) **5日間の 最低気温(℃) −2、1、4、−5、3**
範囲は？

(4) **度数 4、7、8、5、3。3番目の**
階級の 累積度数は？

(5) **記録の 順の データ 14、3、11、6、10、2、12**
中央値は？

大問2　読む・考える

各3点（18点）

(1) **たての 1目盛りが 5人。ある 棒の**
高さは 3目盛り。度数は？

(2) **度数 3、5、8、4（0から 10ごとの 階級）**
20未満の 人は 何人？

(3) **階級は 0から 20ごと。度数は 5、9、4、2。**
最頻値は？

(4) **相対度数が 0.07 の とき**
百分率では 何%？

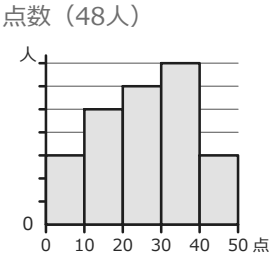
(5) **10回で 8回、1500回で 600回 表が 出た。**
確率の 見積もりに ふさわしい 値は？

(6) **A班 2、3、4、5、26点**
B班 6、7、11、12、13点
中央値が 高い 班の 中央値は？

大問3　ヒストグラムを使う

各4点（8点）

48人の 点数を 調べた。左の ヒストグラムは たての 1目盛りが 2人である。



(1) **中央値が 入る 階級の**
左はしは？

(2) **20以上30未満の**
相対度数は？

大問4　誤りを 直す・データを 変える

各4点（8点）

(1) **階級は 0から 5冊ごと。度数は 7、6、4、2、1人。**
中央値の 階級の 左はしは？

(2) **データ 1、3、5、7、9 に 13を**
1個 加える。中央値は？

大問5　説明

6点

Dさんは、「キャップを 投げて 表が 出る 確率は 0.43 なので、
100回 投げると ちょうど 43回 表が 出る」と 考えました。
この 考えが 正しくない 理由を、確率の 意味を 使って 説明しなさい。

いちごドリル プリント

つづきの無料プリント
「データの活用」のプリント一覧がひらきます

まとめテスト②【こたえ】

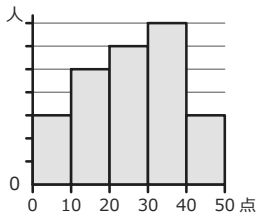
中1／データの活用 まとめ／50点満点・制限時間 25分

なまえ ＿＿＿＿＿＿＿＿

ひづけ ＿＿＿＿＿＿＿＿

問	正答	点	採点のめやす（×のときの誤答）	やるところ（記事の小単元）
1(1)	3	2	2 は ×（70を 入れた）	① 度数分布表
1(2)	0.2	2	5 は ×（総数÷度数に した）	③ 相対度数
1(3)	9	2	4 は ×（最大値に した）	⑤ 代表値と範囲
1(4)	19	2	8 は ×（その 階級の 度数に した）	④ 累積度数・累積相対度数
1(5)	10	2	6 は ×（記録順の 真ん中）	⑤ 代表値と範囲
2(1)	15	3	3 は ×（目盛りの 数を 人数に した）	② ヒストグラム・度数折れ線
2(2)	8	3	16 は ×（20〜30 まで たした）	④ 累積度数・累積相対度数
2(3)	30	3	9 は ×（度数を 答えた）	⑥ 度数分布表からの代表値
2(4)	7	3	0.07 は ×（小数に %を つけた）	③ 相対度数
2(5)	0.4	3	0.8 は ×（少ない 回数で 決めた）	⑧ 相対度数と確率
2(6)	11	3	4 は ×（最大値が 大きい 班に した）	⑦ データの比較・判断
3(1)	20	4	30 は ×（いちばん 高い 棒に した）	⑥ 度数分布表からの代表値
3(2)	0.25	4	0.125 は ×（目盛りを 人数に した）	③ 相対度数
4(1)	5	4	10 は ×（表の 真ん中の 階級に した）	⑥ 度数分布表からの代表値
4(2)	6	4	5 は ×（加える前の 値に した）	⑤ 代表値と範囲
5	下の 解答例	6	下の 採点基準（2点×3）	⑧ 相対度数と確率

点数（48人）



大問5　採点基準（各2点）

① 「確率 0.43 は 多数回の 実験の 相対度数に 近い およその 値」と 書く
② 「100回 でも 結果は ばらつき、43回より 多い・少ない ことも ある」と 書く
③「ちょうど 43回とは 限らない。およそ 43回と 考える」と 結論を 書く

解答例
確率 0.43 は、多数回 投げた ときの 相対度数に 近い およその 値。100回 投げても 結果は ばらつくので、ちょうど 43回に なるとは 限らず、およそ 43回と 考える。

丸つけ　答えは 数だけで ○（単位や %が あっても ○）。0 も 答え。大問5は 採点基準の ①〜③ ごとに 2点。

考え方（途中の式）

1(1)(2)	60以上70未満は 60、60、63 の 3人（70は 入れない）。相対度数＝5÷25＝0.2（25÷5＝5 は ×）
1(3)(4)	範囲＝最大値−最小値＝4−(−5)＝9。3番目までの 累積度数＝4＋7＋8＝19
1(5)	小さい順に 2、3、6、10、11、12、14 の 4番目 10（記録の 順の 4番目 6 は ×）
2(1)(2)	1目盛り 5人の 3目盛り＝15人。20未満＝0〜10 と 10〜20 の 3＋5＝8人（16 は 20〜30 まで）
2(3)(4)	度数が 最大の 階級 20〜40 の 階級値＝30。0.07×100＝7%
2(5)(6)	回数の 多い 1500回の 600÷1500＝0.4。中央値は A班 4点、B班 11点で B班の 11（最大値 26 の A班は ×）
3(1)(2)	累積度数 6、16、28、42、48。24・25番目は 20〜30 で 左はし 20。20〜30は 6目盛りで 12人、12÷48＝0.25
4(1)(2)	累積度数 7、13、17、19、20。10・11番目は 5〜10冊 で 左はし 5。13を 加えて 6個。3番目 5 と 4番目 7 の 平均で 6
5	確率 0.43 は、回数を 1000回・10000回と ふやすと 表の 割合が 0.43 に 近づく という 意味。100回 では 43回より 多い・少ない ことも ある（たとえば 40回・47回）。だから 「およそ 43回」と 言う

声かけの 例　目盛り →「1目盛りは 何人？」　境目 →「その 値は 上の 階級？」　累積 →「どの 行までの 合計？」　中央値 →「並べ替えた？」

40点以上　仕上がり。×の 問が あれば 右の「やるところ」を 1回 やってから 再挑戦。
30〜39点　×の 多い 小単元から、診断テストの 答え面の 表で 練習する 順番を 決める。
29点以下　診断テスト［A］に もどって、×の 小単元を 数える。

得点　　／ **50 点**　　×の 問は 右の「やるところ」へ（番号は 診断テストの 表と 同じ）。40点以上なら 仕上がり。